

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り

Kagoshima Southern Wind Tidings



VOL.199

▽トピックス

1 国際交流員のコラム（鹿児島県国際交流員 ベン・モラン）

●鹿児島県の新人英語圏国際交流員からのハロー！

2 かごしまの国際交流

●バヌアツ共和国との交流を実施しました

3 知事の動き

●駐日エチオピア大使が訪問されました（7月4日）

●中国から清華大学の学生の皆さんが訪問されました（7月 15 日）

●第4回「枕崎国際芸術賞展」オープニングセレモニーに出席しました（7月 21 日）

国際交流員のコラム

●鹿児島県庁の新人英語圏国際交流員からのハロー！●

—鹿児島県国際交流員 ベン・モラン（イギリス出身）—

鹿児島県の新英語圏国際交流員のベン・モラン（Ben Moran）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今年4月初旬に、尊敬する前任者スノーデン氏の後任として、着任しました。スノーデン氏は2年間に献身的に勤め、同僚はスノーデン氏のことを褒めるばかりです。それゆえに、毎日そういう期待に応えるように頑張っています。

まずは、自己紹介します。私は23歳です。イギリスのデボン州に生まれ母、父と弟と共に育ちました。2020年から2024年マンチェスター大学で日本学を専攻し、2023年に留学生として、大阪大学で勉強しました。

カフェで働いていた間、JETプログラムに参加できることを知りました。JETプログラムというのは日本政府が管理している、外国人が日本で働ける（先生（ALT）や公務員として働く）ように促進する国際交流プログラムのことです。任務に就く一か月前に通知が来て、鹿児島県庁に行くことを教えていただきました。就任への希望を抱きながらも慌ただしく準備を進め、この1ヶ月は、生涯であつという間の1か月に感じました。

4月初旬に来鹿以来、鹿児島県の景色の美しさと生活のペースに心打たれています。

ロンドンから引っ越してきたので、生活のペースの違いは良い気分転換と感じています。来鹿したばかりの頃は、活動的に毎日出かけたり、桜島を様々なアングルで撮影したりしました。

活火山を実際に見たことはなかったので、ノリノリでした。桜島が噴火することは、県民にとっては不便ですが、私にとっては写真撮影の機会なので自分だけの楽しみにしています。



新しい撮影スポット！

私はこの4か月間、国際交流課の方々と働くのをとても楽しんできました。この場を借りて、国際交流課の皆様の親切と忍耐力に感謝を申し上げます。翻訳と通訳というメインの仕事を私は楽しんでいます。挑戦することはいろいろありますが、皆様のサポートのおかげで、持ちこたえることができていると感じています。

さて、なぜ私は日本語を勉強することにしたのでしょうか。よく聞かれる質問で、手のかかる大変な翻訳にくじけそうになったとき、自分自身にも問いかける質問です。中学生の頃、2人の素敵な日本語の先生が学校にいました。イギリスにある学校でしたが、フランス語やスペイン語と共に日本語の授業も選択できたのです。日本語を選択したきっかけは、アニメ、漫画、将軍と侍の歴史やハローキティだと言いたところですが、実際にはフランス語とスペイン語より日本語の方が「カッコいいなあ」と思ったからでした。でも、入学して以来、日本語への思いはどんどん強くなりました。マンチェスター大学と大阪大学でも日本の政治、宗教、歴史と社会学という授業に出席していたので、ますます日本を国として学びたいという気持ちが強くなりました。大阪での留学時に、友達ができたのはありがたかったです。その頃から、自分の日本語をよりよくしたいと思うようになり（進行中）、できるだけ普段の生活で日本語を使おうと意識しています。

私は仕事中、常に日本語を使っているのも、どんどん上達していることを願っています。

私の自己紹介と鹿児島に来た話は以上です。今から、数か月間は県のような所に行きたいです。次は霧島市です！県では国際交流員としてPRをしたり、国際交流を促進できるように他の仲間と協力し頑張って働いてまいります。



4月に見た桜島と芸術花火2025での素晴らしい太鼓の演奏

かごしまの国際交流

● バヌアツ共和国との交流を実施しました ●

本県と多くの共通点を有する南太平洋の島国であるバヌアツ共和国との親善関係の強化を図るため、大阪・関西万博の開催を契機とした交流を下記のとおり実施しました。

記

1 バヌアツ共和国に関する県庁での紹介展示

- (1) 期間 令和7年7月24日（木）～31日（木）
- (2) 場所 鹿児島県庁1階ロビー（エスカレーター横）

(3) 展示内容

バヌアツの民族衣装や手工芸品、バヌアツ共和国の観光スポット等の紹介パネル等の展示



◀ 県庁内での展示の様子

2 大阪・関西万博におけるバヌアツ共和国ナショナルデーイベントでの交流

- (1) 日時 令和7年7月30日(水) 15:00~17:00
- (2) 場所 大阪・関西万博ナショナルデーホール
(レイガーデン)
- (3) 出演者 島津義秀氏(一節切・薩摩琵琶演奏)
柴藤ひろ子氏(ピアノ演奏)

(4) 内容

標記イベントの中で2曲を演奏しました。

- ・「バヌアツ共和国国歌」演奏(島津氏, 柴藤氏)
- ・「蓬莱山」演奏(島津氏)

※ 併せてバヌアツ共和国と本県の共通点の紹介, 楽器等の紹介を実施。



▲ステージでの演奏の様子

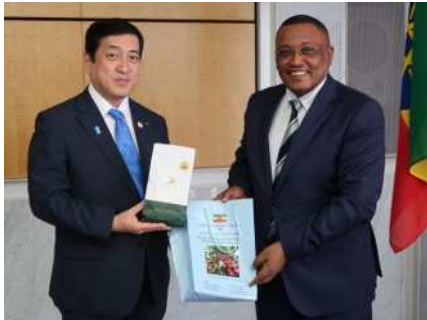
知事の動き

● 駐日エチオピア大使が訪問されました(7月4日) ●

エチオピアのダバ・デベレ・フンデ駐日エチオピア連邦民主共和国大使が県庁を表敬訪問されました。

ダバ大使からは、エチオピアの歴史や文化、日本や鹿児島とエチオピアの共通点などをご紹介いただいたほか、文化交流や人的交流をはじめとしたさまざまな交流を鹿児島と行っていきたいとお話がありました。

塩田知事からは、本県の豊かな自然や食、歴史・文化などの魅力をご紹介したほか、今後、エチオピアとの交流が盛んになることを期待しているとお伝えしました。今回の訪問が、本県とエチオピアとの交流のより一層の発展につながれば幸いですとのお話がありました。



皆様との記念撮影 ▶



◀ ダバ大使から記念品をいただきました

●中国から清華大学の学生の皆さんが訪問されました（7月15日）●

鹿児島大学との覚書に基づき実施されたサマープログラムにより来鹿していた、清華大学の学生13人が県庁を表敬訪問されました。

学生の皆さんは、7月8日から19日までの日程で、鹿児島大学での講義受講や学生との交流、県内でのフィールド学習等を行ったとのことで、鹿児島での思い出や感想として、故・稲盛和夫氏の経営哲学や、明治維新で鹿児島が果たした役割などを学んだほか、桜島や霧島などを訪問し、本県の豊かな自然に感動したことなどの話がありました。

塩田知事からは、南さつま市が7世紀に鑑真大和上が上陸した地であることや、7世紀から9世紀にかけて行き来した遣唐使船の寄港地であることなど、鹿児島と中国の歴史的な繋がりについてお話したほか、多彩な魅力がある鹿児島をぜひ好きになっていただき、今後も鹿児島にお越しいただきたいとの話がありました。



▲清華大学の皆様との記念撮影

●第4回「枕崎国際芸術賞展」オープニングセレモニーに出席しました（7月21日）●

枕崎市南浜館において開催されている第4回「枕崎国際芸術賞展」のオープニングセレモニーに出席し、塩田知事が来賓出席し、お祝いを述べました。

本展は、国際文化交流と地域文化の向上を図ることを目的に、現代アートの国際コンクールとして開催され、国内外からメッセージ性のある魅力的な作品が展示されています。

本芸術賞展が、今後も多くの皆様から愛されつつ、着実に発展されることを大いに期待していますとのお話がありました。



▲お祝いを述べている様子



▲実際に展示を見ている様子



▲オープニングセレモニー時の記念撮影



鹿児島県庁ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>



編集後記(鹿児島県観光・文化スポーツ部国際交流課)

今月号のメルマガでは大阪・関西万博の記事がありましたが、皆さんは行かれたか？

これまでの一般の入場者数が7月には1000万人を超えたそうです。

これだけ多くの人々が訪れており、世間の関心の高さを感じます。

会場には最新の技術や様々な国の文化を体験できるパビリオンが並び、歩いているだけでも刺激がいっぱいです★

私は仕事で足を運んだだけですが、熱気と人の多さに圧倒されました。

次はプライベートで、のんびり見て回れたらいいなと思っています。

それでは、また来月号もお楽しみに♪



「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。写真の簡単な説明を添えてお送りください(例:克灰袋の山)。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▲▽▲▽

日本国 鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号:+81-99-286-2306

FAX 番号:+81-99-286-5522

↓電子メールアドレス

英 語:cir1@pref.kagoshima.lg.jp

中国語:cir2@pref.kagoshima.lg.jp

韓国語:cir3@pref.kagoshima.lg.jp

日本語:minami@pref.kagoshima.lg.jp

本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信, 転載及び掲示板等への掲載は禁止します。